

人事行政の運営等の状況

市職員の給与は、市人事委員会が市内民間企業の従業員の給与を調査した上で行う勧告に基づき、市議会の決定を経て定められています。市長、議員の報酬などは、市内の公共的団体の代表者などによる特別職報酬等審議会の答申に基づき、市議会の決定を経て定められています。令和3年度の人件費は858億4,655万円で、市歳出総額4,202億6,942万円における人件費の割合は20.4%でした。

(1) 職員(一般行政職)の平均年齢および平均給料月額(令和3年4月1日現在)		(2) 職員(一般行政職)の初任給の状況(令和3年4月1日現在)		(3) 職員(一般行政職)の経験年数別・学歴別平均給料月額(令和3年4月1日現在)			
平均年齢	平均給料月額	区分	熊本市	経験年数	10年	20年	30年
41.9歳	321,700円	大学卒	190,500円	大学卒	266,489円	359,409円	395,844円
		高校卒	155,300円	高校卒	221,754円	313,790円	374,112円

(4) 職員(一般行政職)の級別職員数の状況(令和3年4月1日現在)									
区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	計
標準的な職務	主事 技師	経験主事 経験技師	主任主事 主任技師	主査	主幹	課長	部長	局長	
職員数	296人	355人	771人	846人	493人	221人	73人	25人	3,080人
構成比	9.6%	11.5%	25.0%	27.5%	16.0%	7.2%	2.4%	0.8%	100%

(5) 職員手当の状況(令和3年4月1日現在)			
区分	内容		
扶養手当	○配偶者は6,500円、子は10,000円、父母等は6,500円(配偶者・父母等:7級8級職員3,500円) ○16歳から22歳までの間にある子1人につき5,000円加算		
通勤手当	○電車・バスなどを利用する場合 55,000円を限度に支給 ○自動車などを利用する場合 使用距離に応じて3,300円~23,000円を支給		
住居手当	家賃の額に応じて27,000円を限度に支給		
期末・勤勉手当(令和3年度)	期末手当	勤勉手当	
	計	2.40月分(1.35月分) 1.90月分(0.9月分)	
退職手当	自己都合	応募認定・定年	
	最高限度額	47.71月分 47.71月分	

(6) 定員の状況(部門別職員数の状況、各年4月1日現在)			
部門	職員数		対前年 増減数
	令和2年	令和3年	
一般行政部門	3,534人	3,517人	△17人
特別行政部門	4,996人	5,412人	416人
公営企業等会計部門	1,334人	1,323人	△11人
合計	9,864人	10,252人	388人

(7) 特別職の報酬等の状況(令和3年度)					
区分	市長	副市長	議長	副議長	議員
報酬等月額	1,190,000円	947,000円	820,000円	746,000円	676,000円
期末手当	計 3.25月分				

(8) 懲戒処分等の状況(令和3年度)					
	戒告	減給	停職	免職	計
人数	7人	2人	4人	3人	16人

※期末・勤勉手当の()内は、再任用職員に係る支給割合です。

※懲戒処分とは、職員の一定の義務違反に対して、その責任を追及して行う不利益処分です。

詳しくは、市ホームページへ。

(労務厚生課 ☎096-328-2960・人事課 ☎096-328-2149)

10月1日から産後パパ育休(出生時育児休業)が創設され、育児休業の分割取得が可能になります

産後パパ育休は、原則休業の2週間前までに申し出て、子の出生後8週間以内に4週間まで取得できます。併せて、育児休業は原則1か月前までに申し出て、子が1歳(最長2歳)まで取得できます。どちらも分割して2回取得可能です。

詳しくは、熊本労働局雇用環境・均等室(☎096-352-3865)へ。

(しごとづくり推進室 ☎096-328-2377)



7月25日に「産業版 市長とドンドン語ろう!」を開催しました。

本市観光の復活を目指すにあたり、コロナ禍における実情と、今必要なことやコロナ収束後に備えこれから取り組むべきことについて、本市と関わりのある観光業界の皆さんと意見交換を行いました。

熊本空港利用者の7割は首都圏からだ。首都圏に対してどうプロモーションするかが大事である。



本市の東京事務所が中心となって、首都圏に在住する熊本市を愛する皆さんとともに、熊本市を応援する「TOKYO BASE 096」というネットワークを立ち上げており、この組織が主体的に熊本の情報を首都圏で発信しています。



令和5年3月には熊本空港の新ターミナルビルの開業を控えており、この機会をとらえてどのように熊本をPRしていくか、市と一緒に検討し、取り組んでいきたい。

熊本空港の新ターミナルビル開業は非常に大きなチャンスであり、熊本地震からの復活という大きなストーリーもあることから、そこに向けたプロモーションは重要だと考えます。市としても一緒に取り組んでまいります。



今後は個人旅行がメインとなってくる中で、そのような方々がどう楽しめるかが大事だ。

来てみないと分かりにくいですが、熊本市には城下町の街並みや夏目漱石旧居など、歴史が息づいており、回遊が非常に楽しい。水や緑などを含めたさまざまな観光資源を改めて洗い出し、魅力を発信し続けてほしい。



地元に住む人は歴史的な観光資源等に気づかないことがあります。

県外から来られた方がどのような見方をされているか、しっかりと把握し、歴史的な資源をどのように生かし、どのようなストーリーへとつなげていくかなどの参考としてまいります。

※内容は開催日時点のものです。